



▲2004年菊花賞(G1)

世界に挑んだ 優駿たち

— Vol.13 —

▼2006年メルボルンC(G1)

新たな歴史を開いた先駆者

デルタブルース

2004年の菊花賞で、父ダンスインザダークに続く父仔二代制覇を達成したデルタブルースは、海外での実績を積み重ねている日本馬のなかでも、また新たな道を切り開いた優駿である。

生粋のステイヤーらしく、遅咲きの馬だった。デビューは2歳の11月だが、初勝利をあげたのは翌年の4月で、それまで実に6戦を要していた。その後、重賞の青葉賞に挑戦するも13着に敗れ、自己条件の次走(500万下)でようやく2勝目をあげる。夏を休養に充て、9月の復帰戦を5着とすると、続く1000万下の九十九里特別を快勝。2戦目以降、一貫して2000円以上のレースに使われてきたように、陣営はデルタブルースの長距離適性を活かすべく育ててきたため、この3勝目をあげたことによって菊花賞への出走が叶ったのは何よりの喜びだった。

そして迎えた太一番、菊花賞。ハーツクライや、コスモバルクが上位人気を占めるなか、デルタブルースは8番人気に過ぎなかった。しかし、道中4~5番手で積極的にレースを進めると、直線へ向いてすぐにスパー



ト。当時はまだ地方競馬(兵庫)に所属していた岩田康誠騎手の好判断で早めに先頭に立つと、追い込むホオキバウェーブ以下を抑え、悠々とゴールを駆け抜けた。

その後、05年のステイヤーズSにこそ勝ったものの、ビッグレースでの勝利に見放されていたデルタブルースは5歳になった06年の秋、その矛先をオーストラリアへと向けた。“南半球最大のレース”とも呼ばれる歴史あるハンデ戦、メルボルンCを目標としたのである。

同厩舎の僚馬ポップロックとともにオーストラリアへと遠征したデルタブルースは、鞍上に現地のトップジョッキーであるナッシュ・ローウィラー騎手を迎え、ステップレースのコーフィールドCで3着に健闘(ポップロックは7着)。そして再び岩田康誠騎手を招いて臨んだメルボルンCでは、好位から早めに抜け出すと、それに連れて伸びてきたポップロックを抑えて優勝。日本馬のワンツー・フィニッシュという快挙に競馬シーンは騒然となり、2頭を管理する角居勝彦調教師の名声は一気に世界へと広がった。そしてデルタブルースは、この年度のオーストラリア最優秀ステイヤーに選出されるという栄誉に輝いた。

ハナズゴール、アドマイヤラクティ、リアルインパクトと、近年オーストラリアでG1レースを制する日本馬が出ているが、その先鞭をつけたのはデルタブルースであり、彼が残した蹄跡の輝きが失われることはない。遅咲きだったステイヤーは時を重ね、海外で新たな歴史を開く先駆者となったのである。

全成績		中央29戦5勝 地方1戦0勝 海外2戦1勝				
年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手
2003.11.29	京都	2歳新馬	1600	7	1:40.3	武 幸四郎
12.6	阪神	2歳未勝利	2000	2	2:03.0	C.スミヨン
2004.1.17	小倉	3歳未勝利	2000	2	2:02.8	武 豊
1.25	小倉	3歳未勝利	2000	4	2:04.9	武 幸四郎
2.8	京都	梅花賞	2400	4	2:29.8	岩田 康誠
4.17	福島	3歳未勝利	2000	1	2:00.6	武 幸四郎
5.1	東京	テレビ東京杯青葉賞(GII)	2400	13	2:26.8	後藤 浩輝
5.23	東京	3歳500万円以下	2400	1	2:29.8	安藤 勝己
9.20	阪神	兵庫特別	2500	5	2:33.0	後藤 浩輝
10.2	中山	九十九里特別	2500	1	2:34.7	岡部 幸雄
10.24	京都	菊花賞(GI)	3000	1	3:05.7	岩田 康誠
11.28	東京	ジャパンカップ(GI)	2400	3	2:24.8	安藤 勝己
12.26	中山	有馬記念(GI)	2500	5	2:30.0	D. ボニヤ
2005.11.6	東京	アルゼンチン共和国杯(GII)	2500	5	2:33.1	O. ベリエ
12.3	中山	スポーツニッポン賞ステイヤーズS(GII)	3600	1	3:47.7	O. ベリエ
12.25	中山	有馬記念(GI)	2500	11	2:33.0	O. ベリエ
2006.2.18	京都	京都記念(GII)	2200	5	2:13.9	O. ベリエ
3.19	阪神	阪神大賞典(GII)	3000	3	3:10.1	岩田 康誠
4.30	京都	天皇賞(春)(GI)	3200	10	3:15.7	岩田 康誠
10.21	豪	コーフィールドC(GI)	2400	3	――	N.ローウィラー
11.7	豪	メルボルンC(GI)	3200	1	3:21.4	岩田 康誠
12.24	中山	有馬記念(GI)	2500	6	2:32.7	岩田 康誠
2007.3.18	阪神	阪神大賞典(GII)	3000	4	3:08.4	岩田 康誠
4.29	京都	天皇賞(春)(GI)	3200	12	3:15.2	岩田 康誠
10.7	京都	京都大賞典(GII)	2400	5	2:25.1	川田 将雅
10.28	東京	天皇賞(秋)(GI)	2000	12	1:59.7	川田 将雅
11.25	東京	ジャパンカップ(GI)	2400	5	2:25.1	川田 将雅
12.23	中山	有馬記念(GI)	2500	12	2:35.7	川田 将雅
12.29	大井	東京大賞典(JpnI)	ダ2000	12	2:07.3	岩田 康誠
2009.3.22	阪神	阪神大賞典(GII)	3000	6	3:14.4	川田 将雅
5.3	京都	天皇賞(春)(GI)	3200	10	3:16.2	岩田 康誠
5.31	東京	目黒記念(GII)	2500	16	2:43.9	岩田 康誠

※レース名は当時の表記による

デルタブルース 牡 鹿毛 2001年5月3日生		
調教師：角居勝彦 馬主：(有)サンデーレーシング		
父 ダンスインザダーク 1993 鹿	サンデーサイレンス	Halo
		Wishing Well
	ダンシングキイ	Nijinsky
		Key Partner
母 ディクシースプラッシュ 1988 鹿	Dixieland Band	Northern Dancer
		Mississippi Mud
	Ocean Jewel	Alleged
		Lady Offshore